

# 行政視察の報告

## 行政視察とは・・・

各委員会でする事務や当面する行政課題を調査し、市の施策にいかすために他の自治体に出向き、先進的な事例を学びます。

### 政策総務委員会

10月27日～28日

愛知県新城市

「若者政策について」

市民が主役となり、世代のリレーができるまちづくりのためには「若者が活躍するまち」の実現が不可欠とし、「若者条例」と「若者議会条例」を制定した。若者自身が思いや意見を伝える機会を確保し、それらを反映する仕組みとしての「若者議会」は現在2期目である。16～29歳の若者20名に年間1,000万円の予算の活用を任せ、実際に施策の前進を見ていることの意義は大きい。



大阪府吹田市

「公会計情報、固定資産情報を活用した公共施設等総合管理計画の推進について」

限られた財源を効率的に使うため、公共施設の管理計画を実行するにあたり、早い段階から公会計の利活用に取り組んでいる。



### 生活文教委員会

10月27日～28日

広島県広島市

「学校における平和教育及び広島平和記念資料館の取り組みについて」

写真やイラスト中心に子どもにもわかりやすい内容の「平和ノート」を活用し、発達段階に合わせた平和教育を行っている。



大阪府池田市

「発達支援について」

子どもの成長・発達が記録できるシート「Ikeda\_s (イケダス)」、月齢ごとに相談先をまとめた「池田市発達支援Map」、子どもの発達特性に関する調査を補助する「かおテレビ」によって、関係機関が連携し切れ目のない発達支援を実現している。



### 厚生委員会

10月27日～28日

大阪府大阪市西淀川区

「NPO法人西淀川子どもセンターについて」

行き場のない子どもたちのために、一緒に夕飯をとり、学習できる居場所を提供している。また、市営住宅の一室を借りて、文庫の貸し出しや子ども支援のためのサポーター養成などを行っている。



岡山県総社市

「障がい者千人雇用について」

片岡市長の強いリーダーシップにより、ハローワークや商工会議所と協定を締結するとともに、「障がい者千人雇用推進条例」を制定した。これらの障がい者就労の推進で、平成23年4月に180人だった就労者数が、平成28年9月には、951人に増えている。



### 都市整備委員会

11月1日

武蔵野市武蔵境駅及び練馬区石神井公園駅

「駅前の整備状況及び高架下の利用について」

連続立体交差事業が完了しているJR中央線・武蔵境駅と西武池袋線・石神井公園駅を視察した。

両駅とも鉄道会社と行政が連携することで、

利便性や景観などまちの価値を高めるまちづくりが完成している。高架下の活用にあたっては、事前に住民ニーズを調査し、その結果、市が自由に使えるスペースの大部分を、歩行者の安全に配慮しながら自転車駐輪場として整備し、住民の要望を実現している。



# 議会報告会

東村山市議会では、26年度から定例議会終了後に年4回、議会報告会と意見交換会を開催しています。

本市議会の趣向をこらした報告会は、「議会改革白書」に取り上げられたり、早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査」でも高い評価を得るなど、先駆的な取り組みとして多くの市議会から注目されています。

今回は、11月18日・19日に開催した議会報告会を紹介します。

## 議会報告会プログラム

1. ようこそ議会報告会へ
2. 9月定例議会の報告
3. 意見交換会
  - ・18日「みんなで考えよう! 風水害対策」
  - ・19日「住み続けたいまち 東村山へ」



## 9月定例議会の報告に対する質問と回答

**(質問)** 市議会だよりに掲載されている一般質問の記事は誰が書いているのか?

**(回答)** 議員が掲載内容を指定し、議会事務局の職員が原稿案を作成する。それを議員が加筆・修正している。

**(質問)** 議会基本条例の検証の中に「E評価(その他)」の項目がある。今後どのように対応していくのか?

**(回答)** 検証期間とした「2年間」では実績がなかったが、現在は政策研究会を発足するなど、動き出している。

**(質問)** 一般会計補正予算の中で、市内の「街路灯のLED化」とあるが、今回は調査の委託だけなのか?

**(回答)** 街路灯のLED化と調査委託は別である。調査は、場所や状況を調べるもので、この調査を終えたところから順次工事に入る。

※議会報告会の報告書全文はホームページでご覧いただけます。

次回は2月3日・4日に開催します

## 意見交換会

### 18日「みんなで考えよう! 風水害対策」

昨年8月、台風9号が関東地方に上陸し、市内でも多くの被害がでました。その日、皆さんの周りではどんなことが起きていたかを振り返り、参加者と議員が一緒になって災害時の自助・共助・公助について考えました。

#### 〈参加者から〉

- ◆風雨が強く、防災無線が聞き取れなかった。
- ◆空堀川の増水状況などがわからなかった。

#### 〈元消防団分団長でもある小町生活文教委員長から〉

- 災害時には単独行動をしない。
- 防災メールシステムに登録しておく。
- 川の様子が気になっても見に行かない。
- 台風や大雨が予想されたら、道路に水が溜まらないように側溝をきれいにする。
- 土のうは市役所に連絡すれば届けてもらえる。使い終わっても返さずに日陰で保管する。

まずは、自助で自分の身を守り、次に周りで助け合うことが大切だと、実体験に基づく話がありました。



3月定例議会は2月23日に始まります。ぜひ傍聴にお越しください